

「純銀粘土でアクセサリー作り 入門編」

を開催しました

平成24年5月15日と29日の2回、六車銀粘土教室の六車 明美さんを講師にお迎えしました。

純銀粘土は、銀粉末と水、結合材から出来ています。粘土の状態で作形した後、乾燥させ、高温で焼くと結合材が焼失し、純銀だけが残ります。レントゲンや写真のフィルムには銀が含まれており、使用済みのものを回収、



抽出した銀を使っているため、純銀粘土はリサイクルの側面も持っています。

第1回は、貝殻のペンダントトップを作りました。貝殻の型に純銀粘土を押し当てて造形するのですが、この貝殻は六車さんが実際に瀬戸内海の海岸で拾ってきたものだそうです。



また、第2回に作った葉っぱのブローチは、ミントやじゃがいも等生の葉っぱに直接ペースト状の純銀粘土を塗って造形します。素材の良さを生かせるよう、また、直接肌に触れたとき尖った部分が無いように、受講生のみなさんは、六車さんのアドバイスを受けながら、手際よく作業を進めていきました。



乾燥させ、790度に設定した釜で焼いた後は、ステンレス製のブラシやヘラで磨きます。この磨き具合で作品の表情が随分変わりました。みなさん思い思いに仕上げ、自然の美しいラインがキラキラ輝く素敵なアクセサリーが出来上がりました。

